

発行者・大阪鉄道病院 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-22 TEL 06-6628-2221(代表)

★当院は西日本旅客鉄道株式会社の企業立病院ですが、どなたでもご利用いただけます★

専門的な看護を行っています

～認定看護師のご紹介～

がん性疼痛認定看護師

私は6階病棟で勤務をしながら、がん性疼痛がある方の看護を行っています。

今や日本では2人に1人が“がん”になる時代です。そのような中で、がん患者さんの約70%の方が痛みを体験すると言われ、20~50%は診断時に痛みを体験していると言われています。痛みを我慢していると、疲れなくなったり、食べることができなくなったり、イライラしたり…。身体にもこころにもストレスがかかり、体力を消耗します。



また、痛みを長い間我慢していると症状が悪化し、余計に多くの鎮痛剤が必要になるとも言われています。

痛みを緩和して本来の治療に専念できるように、また痛みを緩和することで、大切な時間をその人らしく過ごすことができるよう、お手伝いさせていただきたいと思います。

具体的には、鎮痛剤使用に対する不安軽減のための情報提供や、がん疼痛を緩和するケアの提案などを行っています。よろしくお願ひいたします。



がん性疼痛認定看護師
三木 章乃

感染管理認定看護師



感染管理認定看護師
小野 佳美

私は、7月に感染管理認定看護師(以下CNIC)の資格を取得し、8階の血液内科・消化器内科の混合病棟で勤務しながら、兼任で活動しています。



当院は、現在1人専従のCNICがあり、2人目になります。感染は、医療を受ける患者のみならず、そのご家族や医療従事者など医療にかかわるあらゆる人に起こり得ます。そして、一人ひとりの行動が感染予防につながるため、実践可能な対策が必要になってきます。病棟勤務と兼任している強みを活かしながら、実践可能な対策を実施し、まずは自部署の感染対策から、そして感染対策チームメンバーと協働し、院内全体の医療関連感染発生の予防、低減につなげていきたいと考えます。よろしくお願ひいたします。

★認定看護師★

日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術および知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者です。

当院では、今回ご紹介した2名を含め、8名の認定看護師が活躍しています。



「消化器内科」のご紹介

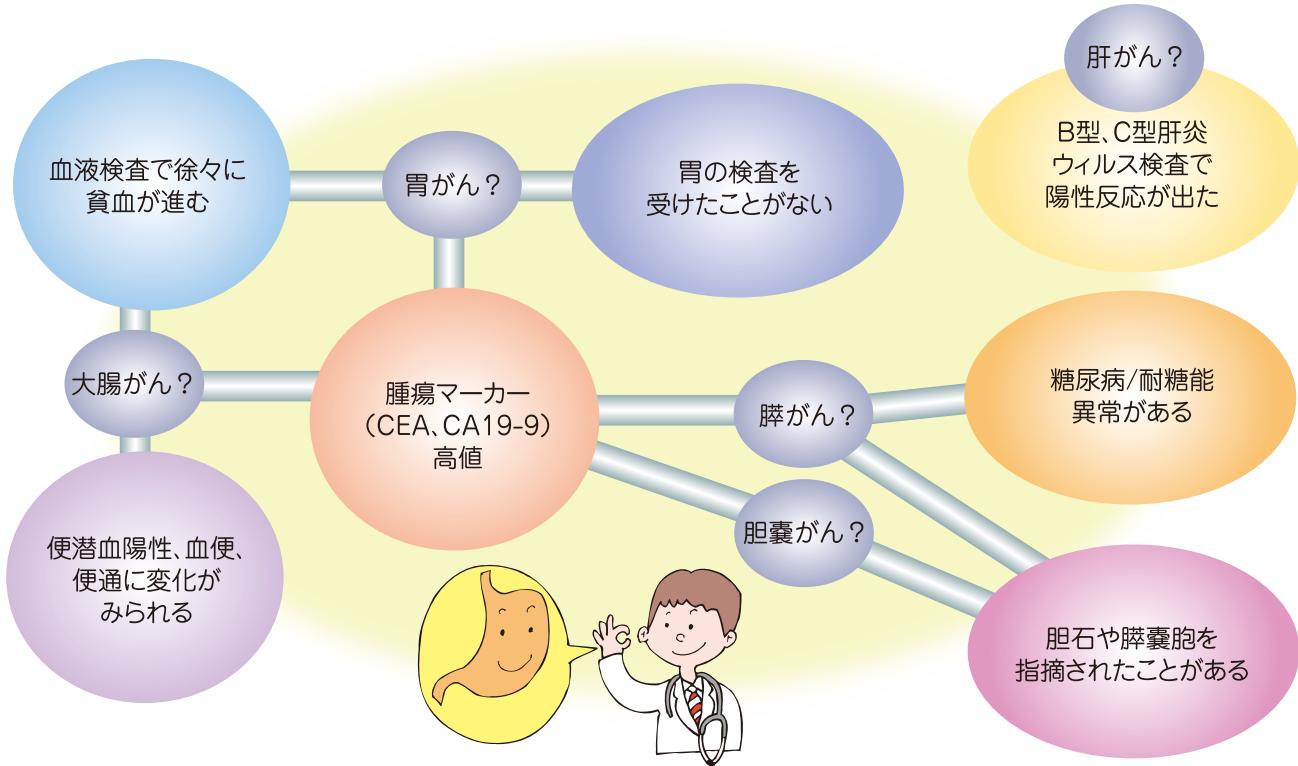
「大阪府がん診療拠点病院」として、消化器内科では、胃がん、大腸がんに対する内視鏡治療など、特にがん治療に力を入れた診療を行っています。

当科では、様々な専門医資格を有する7名の常勤医師、8名の非常勤医師が、それぞれの専門性を活かし、患者さんの病状に応じて最適な治療方法を選択しながら、日々診療を行っています。

消化器内科で扱う疾患とは

消化器内科で扱う臓器は、消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門）をはじめ、肝臓、胆嚢、脾臓など、きわめて広範囲に及びます。それぞれの臓器に炎症、腫瘍、機能異常などが発生すると、様々な病気となります。

消化器内科では、これらほとんどに対応していますが、その中でもとりわけ怖い病気が「がん」です。がんは、ひっそりと発生し、気づかぬうちに進行していきます。自覚症状がほとんどないケースも多いため、早期発見が困難な場合があります。下表に、各臓器のがんを早期に発見するきっかけの一部をお示します。



消化器内科で診療している主ながん

胃がん、大腸がん

胃がんの患者数は減少傾向にありますが、消化器がんの中で男性では最も死亡率が高いのが現状です。一方、女性で最も死亡率が高いがんは、大腸がんです。

消化管のがんは、いずれも早期発見できれば内視鏡を用いた治療が可能ですが、進行すると外科手術や抗がん剤治療などが必要になります。

胃腸に不調を感じている場合はもちろん、自覚症状がない段階での検査が重要です。気になる方は、専門医に相談されることをお勧めします。

膵臓、胆管、胆嚢のがん

これらのがんは、増加傾向にあり、早期診断が困難ですが、早い時期に診断できれば、手術で治療することが可能です。

早期発見のためには、無症状の時期に、腹部超音波やCT検査といった検査を受けることが大切です。手術できない場合には、抗がん剤治療が行われますが、胆管の閉塞で黄疸や胆管炎をきたした場合には、内視鏡を用いた治療などを行います。



肝臓がん

肝臓がんは、B型・C型のウィルス性肝炎に長期間罹患している場合には要注意です。早期発見のためには、やはり、無症状の時期に、腹部超音波やCT検査を受けることが大切です。

また、最近では、脂肪肝の一部にはがんが発生する場合があることが知られています。これまでに脂肪肝を指摘されている方は、放置するのではなく、専門医に相談されることをお勧めします。

肝臓がんの治療としては、ラジオ波焼灼療法、エタノール注入療法、肝動脈塞栓療法、抗がん剤治療などの中から、最も適した方法を選択しています。

がんから身を守るには、早期発見がなによりも近道です。早い段階で発見し、適切な治療をすれば、多くの場合は治すことができますので、まずは専門医へご相談ください。

【他の科で通院中の方】主治医にご相談ください。

【かかりつけ医のある方】紹介状をご持参のうえ、受診してください。

内視鏡部門

内視鏡とは、外から見えない身体の内部を、先端にレンズのついた管を差し入れて観察し、場合によっては、そのまま細胞を採取したり治療したりする医療機器です。

当院の内視鏡部門は、日本消化器内視鏡学会が認定する内視鏡指導施設として、同学会が認定する専門医を中心に、責任ある診療体制を整備し、看護師、診療放射線技師等がチーム一体となり、検査、治療等を行っています。

主な検査・治療

●上部消化管内視鏡●

一般的には胃カメラと呼ばれるもので、食道、胃、十二指腸といった上部消化管における病気の診断や治療を行います。

当院では、口からスコープを挿入し、鮮明な画像による正確な診断を行っています。また、早期の食道がん、胃がんの治療や、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、食道静脈瘤からの出血の止血等について、内視鏡的に行うことも可能です。



内視鏡部門スタッフ

●下部消化管内視鏡●

大腸の検査と治療を目的としたもので、胃カメラと同様に先端にレンズのついた細長い機器を肛門から挿入して大腸の粘膜を直接観察します。

ポリープやがん、炎症などを診断するために、組織の一部を採取して調べたり、病変を内視鏡的に切除したりすることもあります。

●胆膵内視鏡●

内視鏡を使って胆管・膵管を造影する検査です。内視鏡を使用して膵がんや胆石の診断を行います。同時に総胆管にある結石を内視鏡的に摘出したり、病変部から組織や細胞を取って検査を行ったりすることもあります。

●超音波内視鏡●

先端に超音波装置のついた特殊な内視鏡を使用して、膵臓の腫瘍や胃粘膜下腫瘍などの診断を行います。消化管の内腔から超音波検査を行えるため、表面には見えない粘膜下の腫瘍の位置や大きさ等の細かい状態を知ることができます。

早期発見・早期治療のためには、まず、検査を受けていただくことから始まります。

かかりつけ医の先生から地域医療連絡室を通じて予約していただきますようお願いします。



ぱっぽさんの院内ツアーア

私がご案内いたします

こんにちは。「ハトのぱっぽ」と申します。

このコーナーは、普段なかなか目にする機会がない、大阪鉄道病院内のスポットを私がご紹介する、前回号からの新コーナーです。皆さんに分かりやすく当院の情報を発信することを目指し、熱いハート(鳩)でご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

第2回 院長室のご案内



ぱっぽさん、いらっしゃい。院長室へようこそ。

院長室には、歴代院長が積み重ねてきた歴史や、日々進化する医療データ等、様々なものがあります。

また、患者さんからいただいたご意見は、必ず院長室へ届くような仕組みになっているので、ちょうど今、見させてもらっていたところなんですよ。

院長室をご案内します

今回ご案内させていただくのは「院長室」です。

大阪鉄道病院では、医師をはじめ、看護師、薬剤師、技師等500名以上の職員が勤務していますが、それぞれの専門性を十分に發揮できるよう、リーダーシップを發揮し、サポートするのが院長です。

今回は、そんな院長がいる院長室にスポットをあて、どのようなことが行われているのかについて、ご紹介致します。

岸本院長、お邪魔しま～す。
院長室には、どのようなものがあるんですか？



▲院長室内に飾られてる、大阪鉄道病院開設当時(昭和4年)の看板



院長室では、各部署とのミーティング等を行って、情報共有を図っています。

細かな相談事項等にも耳を傾けていただけるので、職員にとっては非常に話をしに行きやすい場所です。

そうやって、日々の院内の情報が院長のところに集まるからこそ、各部署の職員が安心して働き、質の高い医療が提供できるんですね。



次回は、調剤室をご紹介します。どうぞお楽しみに!!

「健康講座」開催のご案内

10月

日 時 平成26年10月28日(火)
場 所 大阪鉄道病院 講堂(3階)
講 師 大阪鉄道病院 泌尿器科 吉村 力勇
内 容 発見すれば怖くない—泌尿器の病気—

11月

日 時 平成26年11月25日(火)
場 所 大阪鉄道病院 講堂(3階)
講 師 大阪鉄道病院 耳鼻咽喉科 岡田 博文
内 容 決定次第ホームページ等でお知らせします

12月

日 時 平成26年12月16日(火)
場 所 大阪鉄道病院 講堂(3階)
講 師 大阪鉄道病院 リハビリテーション室
上村 洋充
内 容 決定次第ホームページ等でお知らせします

★定員60名・無料

★予約は不要です。どなた様も、ご自由にお越し下さい。

健康レシピ



最近何かと話題の減塩食。食塩摂取の目標は男性9g、女性7.5gなのですが、日本人の平均摂取量は約13gという報告があります。個人差はあるものの、減塩により血圧が下がることが多くの研究で証明されています。減塩=我慢というイメージがあるかもしれません、牛乳を使えばおいしく減塩ができるんです！牛乳を利用した減塩食を試してみませんか？

<ミルク茶碗蒸し> 4人分

- ①大きめ(500mL)の計量カップに卵1個を入れて溶きほぐす。牛乳350mLを少量ずつ混ぜながら注ぎ入れ、塩小さじ1/2、しょうゆ小さじ1/2を加える。
 - ②器にゆずの皮とみつばを入れ、①を等分に注ぎ、1個ずつ蓋またはラップをする。
 - ③フライパン(または鍋)に約2cmの高さまで水を入れ、②を入れて蓋をし、強火で2~3分、卵液の色が白っぽくなり表面が固まったら火を弱め、トロ火で7~8分蒸す。
- *器の厚さによって蒸す時間は加減する。
(一人分82Kcal 塩分約1.0g カルシウム105mg)